

## インドネシア共和国におけるコールベッドメタン(CBM)鉱区権益取得について

石油資源開発株式会社(本社:東京、社長:渡辺 修)、大阪ガス株式会社(本社:大阪、社長:尾崎 裕)、ジャパンエナジー石油開発株式会社(本社:東京、社長:森田 憲司、株式会社ジャパンエナジーの100%子会社)、エルエヌジージャパン株式会社(本社:東京、社長:米澤 健一)の4社は、BP社(英国)、ENI社(イタリア)、Opicoil Energy社(台湾)と共同でインドネシア共和国エネルギー鉱物資源省が実施した国際入札を通じて、サンガサンガ CBM鉱区を落札し、本日、インドネシア政府と生産物分与契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

サンガサンガ CBM鉱区は、面積1,747平方キロメートルで、同国東カリマンタンに位置しており、4社が株式会社ユニバースガスアンドオイルを通じて権益を保有するサンガサンガ鉱区と同一地域を占めています。また、本事業を推進するため日本コールベッドメタン株式会社を設立しましたので、併せてご報告いたします。

### 記

#### 1. 日本コールベッドメタン株式会社の概要

商号	日本コールベッドメタン株式会社(英文名: Japan CBM Limited)
所在地	東京都千代田区丸の内1-7-12
代表者	代表取締役社長 揖斐 敏夫
設立年月日	2009年(平成21年)11月30日
資本金	75百万円
株主構成	石油資源開発(株)…40.12% 大阪ガス(株)…40.12% ジャパンエナジー石油開発(株)…14.97% エルエヌジージャパン(株)…4.79%

#### 2. 鉱区の概要

鉱区名	位置	面積	権益比率
サンガサンガ CBM鉱区	東カリマンタン州陸上	1,747 km <sup>2</sup>	Japan CBM社…4.375% BP社…26.25% ENI社…26.25% VICO社…7.5% VIC社…15.625% Opicoil Energy社…20.00%

※ オペレーター: VICO社

※ VICO社及びVIC社は、BP社とENI社が各50%出資をしているプロジェクト会社です。

以上

#### ● 【参考資料】

 コールベッドメタン・株式会社ユニバースガスアンドオイル・CBM開発についておよび鉱区位置図 (PDF:140KB)